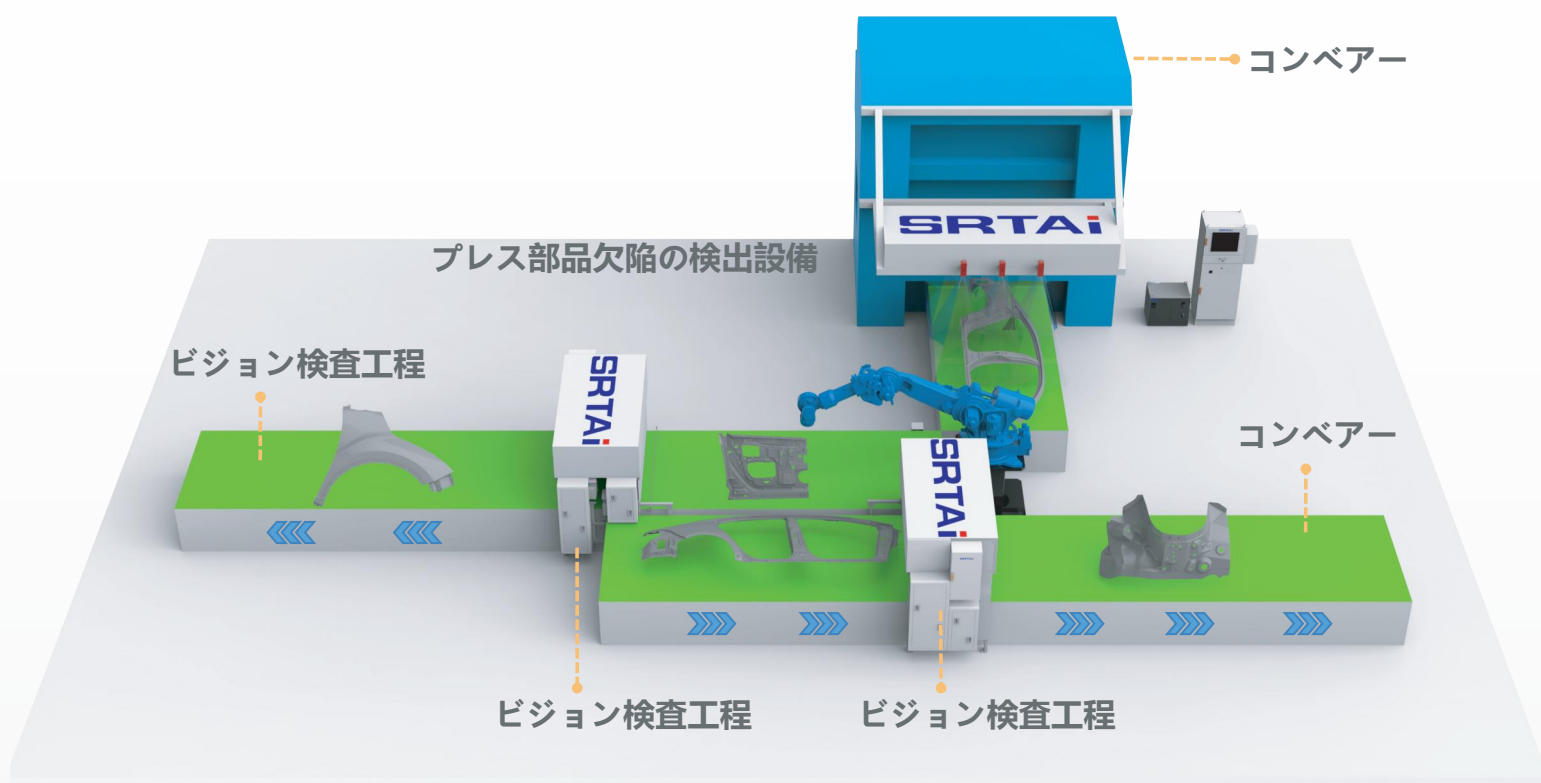


SRTAi



プレス部品欠陥検査装置

自動車プレス部品の欠陥検査、プレス部品件の種類が多く、サイズも違いがある。これでプレス部品の欠陥も色々あり、予測もできない。人手で検査する効率が低くて、ミスも発生しやすい。この問題を解決するため、先進的なビジョン技術と人工知能アルゴリズムと合わせて処理・分析をし、効率・正確・全面的な検査を実現できる。

SRTAiのプレス部品の欠陥検査装置はフレキシブルな特性があり、色んなプレス部品の種類に適應できる。画像を撮るカメラの位置と姿勢及びオートフォーカス制御アルゴリズムにより、違うサイズ、違う表面状態、欠陥種類が多いプレス部品の外観検査ができる。高速な撮影技術が一秒当りに30枚の画像が処理、コンベアー速度600mm/s、1mm以上の割り有無をオンライン検査できる。

我々SRTAiは高精度、高効率のプレス部品欠陥検査の方案を提供することに取り込んで、生産過程にある色々な困りを解決し、生産効率をアップすると同時に、コストを抑える。今後、引き続き精度と効率を高め、市場に更に良いサービスを提供する。

プレス部品欠陥検査装置

製品機能の特徴

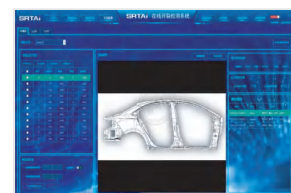
1. 兼用性が強くて便利、安定性が強い

二軸回転ユニットでカメラの撮影角度を調整する。自由に角度調整を行い、撮影の最適な角度を確保し、違うサイズの部品及びカメラ角度への兼用性が高い。電動ズームレンズは普通のレンズとの違いは、検測ヘッドを変えてもトライ時間要らなく、直に使うことができる。普通のレンズのようなピントや絞りなどを調整することなく、工程の安定性を保てる。



2. システムの自己診断機能

自動的にシステムのセルフチェックができる。ソフトがズームレンズ、ジンバルとカメラの機能に対して自己診断を行い、直ぐに検査結果を出せる。そして、検測ヘッドやジンバルが揺れているかどうかのチェックもでき、現場がプレス作業の振動で発生するハードウェアの揺れを避ける。



3. 撮影を触発する正確性

センサーとエンコーダー装置と合わせて、画像撮りを触発する方法は現場での写真撮りサインを確保できる。エンコーダー装置の高精度の記録機能により、以上の方法は生産ラインのシャットダウンのスピードが早く、安定的に触発できる。

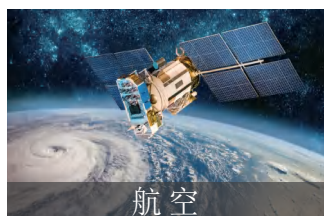


4. リモートデータ監視

生産データの見える化管理ができる。生産工程へのオンライン監視が生産傾向分析を通じ、異常を前もって発見でき、素早く対応できる。管理コストを控え、故障に対応する効率をアップし、データがサーバ管理することにより、地域を跨ぐ追跡が実現できる。



適用産業



社名：名善株式会社

〒：114-0023

住所：東京都北区滝野川1丁目68-7早稲田ビル3F

TEL：03-4588-2050 FAX：03-4588-2051

Email：info@meizen.co.jp

メーカーURL：http://www.srt-ai.com